

金融リテラシー教育(応用篇②複利的思考)

Pepperが講師となり、金融ついて学べる授業です。
金融に関する知識の中で複利的思考を知り、お金との上手なつきあい方を考えます。

LINEヤフー × 金融リテラシー教育研究会 × 静岡大学教育学部

複利的思考 を身につけよう

金融・情報リテラシー教育 応用編

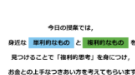
■ 授業の流れ

1.逸話を使った導入



・最初に、豊臣秀吉と曾呂利新左衛門(そろりしんざえもん)の逸話を使用して、「単利」と「複利」の仕組みを明確に理解してもらいます。そこから更に「複利」の有効性とその結果の量的な差のイメージをもってもらおうようにします

2.本授業のテーマ



・本授業のテーマを示します
・身近な「単利的」「複利的」なものに気づき、その特徴や効果がお金と結びつけることで「複利的思考」を身につけ、お金との上手なつきあい方を考えしてもらいます

3.ポイントと身近な例

はじめ

- ・最初に、「複利思考のイメージ」を提示する。
- ・身近な例では、複利思考のイメージを提示する。
- ・複利思考のイメージを提示する。
- ・複利思考のイメージを提示する。

・お金を「貸す・預ける」場合の単利・複利のイメージ、次に、お金を「借りる」場合の単利・複利のイメージを、身近な例、特に学生に関係の深い奨学金などを例示し理解します。

4. お金で考える



・お金を「貸す・預ける」場合の単利・複利のイメージ、次に、お金を「借りる」場合の単利・複利のイメージを、身近な例、特に学生に関係の深い奨学金などを例示し理解します。

5.まとめ

ポイント

- ・複利思考のイメージを提示する。
- ・複利思考のイメージを提示する。
- ・複利思考のイメージを提示する。

授業のまとめとして、
・身近にある「単利的なもの」「複利的なもの」への気づきと理解
・「単利的」「複利的」なものは時間と利率率が大きく関係することの理解
・「複利的なもの」は時間と利率率をよく意識しながら上手に利用することを呼びかけ、授業を終了します。

ご利用ご希望の方は、以下リンク先のコンテンツ申請フォームより
コンテンツ取得の申請をお願いいたします。

[スクールテンプレートコンテンツ申請フォーム](#)